

障がい者支援施設 雪の聖母園

- 1960年 (昭和35年) 江別教会主任司祭の木内藤三郎師が50歳で心機一転、知的障がい児の救済を決意。富澤司教が月形町の教区所有地を提供する。
- 1964年 (昭和39年) 第1期工事 法人認可 初代理事長 木内藤三郎師 初代園長 木内藤三郎師
- 1971年 (昭和46年) 第2期工事 成人施設併設 更生施設認可(30名)
- 1995年 (平成7年) 児童福祉施設を廃止し、成人更生施設(80名)に
- 2006年 (平成18年) 新事業体系へ移行
- 2007年 (平成19年) 入所定員60名に変更

障がい者支援施設 しみずさわ

- 1958年 (昭和33年) 夕張地方に小児マヒが流行し、その後遺症による知的障がい児の親が夕張市手をつなぐ親の会を作る。
- 1966年 (昭和41年) この運動を知ったカトリック教会クリストファー・メノー神父らが資金を作り、夕張市より敷地を譲り受け施設建設。夕張市南清水沢に障がい児の通園施設を開園 園長が教会の主任司祭から民間人園長となる。
- 1979年 (昭和54年)
- 1980年 通園施設を閉園して更生施設(30名)、通所(12名)に変更
- 2012年 (平成24年) 新事業体系へ移行、「しみずさわ」に名称変更

静内ベビーホーム

- 1967年 (昭和42年) 日高支庁管内静内町の共働き家庭・母子家庭が乳幼児保育所開設を要望。静内教会主任司祭のトーマス・ゲーリング師の協力により無認可保育所「静内ベビーホーム」を開園
- 1969年 (昭和44年) 雪の聖母園が法人母体となって申請し、認可保育園となる。定員(60名)



社会福祉法人
雪の聖母園

法人本部

〒061-0526 樺戸郡月形町字当別原野215番地4
TEL 0126-53-2417 FAX 0126-53-3989

障がい者支援施設 雪の聖母園

〒061-0526 樺戸郡月形町字当別原野215番地4
TEL 0126-53-2417 FAX 0126-53-3989

障がい者支援施設 しみずさわ

〒068-0536 夕張市南清水沢4丁目63番地
TEL 0123-59-7855 FAX 0123-59-6196
E-mail: shimizusawa@msknet.ne.jp



静内ベビーホーム

〒056-0004 日高郡新ひだか町緑町2丁目6-36
TEL 0146-42-3175 FAX 0146-42-3410
E-mail: s-babyhome@msknet.ne.jp



社会福祉法人
雪の聖母園



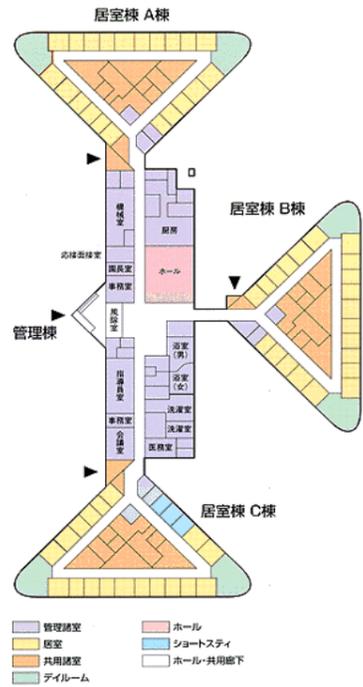
〒061-0526 樺戸郡月形町字当別原野215番地4

TEL (0126) 53-2417 FAX (0126) 53-3989
URL <http://www.msknet.ne.jp/yukinosei/boen>
E-mail yukinosei.boen@yukinosei.bo.com

障がい者支援施設 雪の聖母園



施設入所(60名)
生活介護(55名)
短期入所(4名)
日中一時(委託)



ホール
広々とした明るい空間で、集会や会食等を行います。



ダイニング
床暖付で各棟に2箇所あり、少人数で食事をしたりくつろいだりすることができます。



洗面洗濯室



大浴場

平面図

基本理念

I 人間尊重

私たちは、利用者個人の基本的な権利及び障がい者の権利を尊重し、個人の自主性やプライバシーを守るサービスを提供します。そして、共に喜び、悩みを分かち合い、共に助け合いながら成長していきます。

II 個人の確立

私たちは、利用者一人一人の能力や希望を尊重して、個人の生活の確立へ向けて支援します。

III 生活の向上

私たちは、健康で快適な生活ができるよう環境と条件を整え、地域社会と交流を図りながら、豊かで生きがいのある生活が送られるよう支援します。

IV 自己研鑽

私たちは、障がい者支援サービスの専門員として自覚と誇りを持ち、常に研修し自己の向上につとめます。

就労支援センターオプス

就労継続支援B型(33名)



広大な敷地の木々を伐採し薪として販売しています。



農耕
芋、とうきび、大根など多くの野菜を無農薬有機栽培で作っています。



地域で回収した廃油から高純度の石鹼を作っています。



月形産の大豆を100%使用し、ふっくらとやわらかい納豆を生産しています。



※「オプス」とはラテン語で「働く」という意味です。

コミュニティショップゆづき



平成24年3月25日、月形駅前にリニューアルオープンしました。軽食の他、納豆、かぼちゃまんじゅう、野菜、日用品等を販売しております。



※「ゆづき」は雪の聖母園と月形のコラボから命名しました。

指定相談支援事業所ピンクルム



平成25年度より、障害者総合支援法に基づいて、指定一般相談事業と指定特定児童相談支援事業を実施しています。また、月形町からの委託相談支援事業を受け地域で生活する利用者や福祉サービスを利用して障がいを持った方が自立した生活を営むことが出来るよう事業を行っています。
※「ピンクルム」とはラテン語で「きずな」という意味です。

事業所一覧

障がい者支援施設 雪の聖母園

〒061-0526 樺戸郡月形町字当別原野215番地4
TEL 0126-53-2417 FAX 0126-53-3989

就労支援センター オプス

〒061-0526 樺戸郡月形町字知来乙297番地2
TEL 0126-53-3338 FAX 0126-53-3339

指定相談支援事業所 ピンクルム

〒061-0512 樺戸郡月形町本通77番地
TEL/FAX 0126-35-9595

地域生活支援センター ふらわー

〒061-0512 樺戸郡月形町本通77番地
TEL/FAX 0126-37-2757

グループホーム さくら

〒061-0518 樺戸郡月形町1036番地9
TEL 0126-53-3686

グループホーム ぼと

〒061-0502 樺戸郡月形町52-17
TEL 0126-53-2702

グループホーム すいか

〒061-0512 樺戸郡月形町字緑町174-3
TEL 0126-53-2346

コミュニティショップ ゆづき

グループホーム メロン

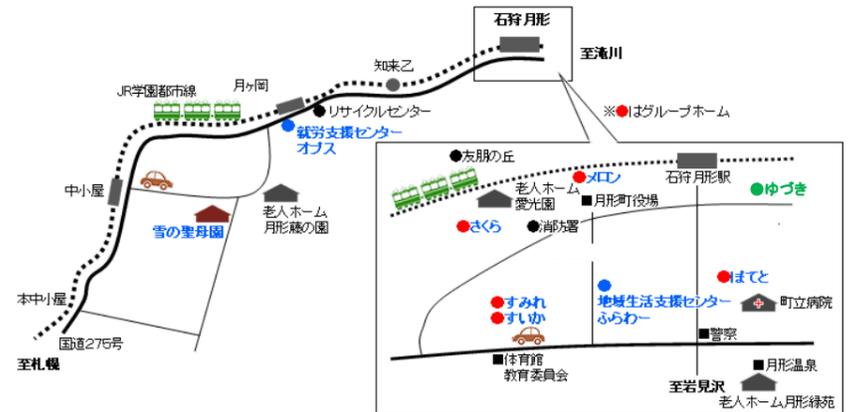
〒061-0511 樺戸郡月形町1056番地90
TEL 0126-53-2012

グループホーム すみれ

〒061-0502 樺戸郡月形町字緑町174-2
TEL 0126-53-2344

アクセス

- ・バス停中小屋郵便局前より下車徒歩15分
- ・札幌より車で約40分
- ・旭川より車で約1時間30分



地域生活支援センターふらわー

グループホームでの支援を受け地域生活を送り続けることができるよう、あらゆるサポートを行う拠点となっております。



グループホーム
5カ所
定員32名



グループホームすいか



グループホームさくら



グループホームすみれ内部